図書室だより　冬号

来ぶらい

きてぶらり　らいぶらり

今金町民センター図書室
〒049-4308
瀬棚郡今金町字今金68
TEL&FAX 0137-82-2822

第12号 2016. 12. 16 発行

図書室からのお知らせ

「本のお楽しみ福袋」今年も行います!!

本を借りたいけど、何を借りたらいいかわからない…
たくさんありすぎて迷っちゃう…　と思っているそこのあなた！！！

「本のお楽しみ福袋」を利用してみませんか！？
２０１７年の初開室日（１月６日）と同時に、何冊かの本を詰め込んだ福袋を貸出いたします！
なにが入っているかドキドキわくわく！ぜひご利用ください♪

期　間：２０１７年1月6日（金）１３：００～（なくなり次第終了します）
場　所：今金町民センター図書室カウンター前
対　象：どなたでもご利用可能です！
内　容：子ども向けセット１５袋／大人向けセット１０袋をご用意しています。
　　どちらも3冊ずつ入っていますよ。

数量限定！！お早目にどうぞ！

平成28年度 今金町民センター図書室 利用案内

●開室日　●水・木曜日　１３：００～２０：００（夜間開室日）
　　●金曜日　　１３：００～１７：００
　　●土・日曜日　　９：００～１７：００
　　（ただし、１２：００～１３：００は閉室しております）
●休室日　〇月・火曜日（祝日の場合も休室しております）

※火～日曜日の図書室閉室時の本返却は、
　１階事務室でも受け付けております。
※１２月３１日～１月５日は休室いたします※

～本のふれあい便～

八雲で借りた本今金で返却できます！

〇おはなしころりん(図書室おはなし会)〇

読み聞かせ・工作・歌などの体験

△ブックスタート△

３か月検診時絵本の読み聞かせ
プレゼントなど

□今金町移動図書館車<ブックン>□

本に親しむ機会の少ない地域を巡回

※1月と3月3週目は運休します※

**詳しくは図書室に
お問い合わせください**

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12△	13	14
15	16	17	18	19	20	21〇
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1□	2	3	4
5	6	7	8	9△	10	11
12	13	14	15□	16	17	18〇
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1□	2	3	4
5	6	7	8	9△	10	11
12	13	14	15	16	17	18〇
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

（〇…おはなしころりん、△…ブックスタート、□…移動図書館車ブックン）

あの人と本のおはなし

このコーナーでは、利用者の方々から本にまつわる出来事や想いを寄せていただきます!
今回は、図書室機能をたくさん活用してくれている男性からお話をいただきました♪

僕と本

山田　哲也（サラリーマン）

図書室の司書さんから、このコーナーに寄稿してほしいと依頼がありました。筆不精の僕はお断りしましたが、なんとかお願いしますと頼まれ根負けし依頼をお引き受けしました。とは言え、何を書いていいのかわからず、とりあえず僕と本のかかわりを書くことにしました。

◇◆◇

僕は保育所の年長児頃から本を読んでいました。きっかけはわかりません。母が勧めてくれたのか、自ら読みたいと言い出したのか、きっと前者のほうだったと思います。家族で旅行に出かける時などいつもおもちゃに混じって野口英世やナイチンゲール等ハードカバーの伝記ものの本を抱えていました。目的地に行くまでの車の中やちょっとした待ち時間など、退屈な時間にはすぐに本を取り出して読んでいました。

そんな本とのかかわりが小学２年生頃まで続いていたような気がします。あるとき何故だか本よりも漫画が好きになり少年雑誌やコミックを読むようになり、中学生までずっと漫画を読んでいました。そうして高校生になった頃、また本に出会うきっかけが訪れました。僕にはふたつ上の姉がいます。あるとき姉が「この本、面白いよ。読んでみなよ！」と勧めてくれました。それは赤川次郎の「三毛猫ホームズの推理」でした。そのとき、小学１年生頃よく本を読んでいたなあと思い出し、また読んでみるか！と思い立って、その本を姉から受け取りました。それは人生初の小説（文庫本）で、あの頃とは違い文字も小さくびっしり並んでいて、読みにくいだろうなという先入観があったのですが、読み進めていくうちになんとも面白く、難しい言葉や表現が少なくて、読みやすい本だったのです。約１０年ぶりにまた本に出会った僕にはうってつけの本でした。それからというものまた本を読むようになり、赤川次郎の著書はたくさん読みました。今でも三毛猫シリーズや杉原爽香シリーズは読んでいます。

◇◆◇

その後は就職しても細々とずっと本を読んでいました。やがて結婚し子どもが生まれ子どもに本を読んであげるようになり、図書室に通い始めました。子どもを寝かせるときは必ず本を読んであげていました。ときには自分が先に寝てしまうことも(笑)。あの頃、図書室には本当にお世話になりました。

子どもが大きくなると読んであげることもなくなり、自分の時間が持てるようになったのでまた本を読み始めました。今度は東野圭吾にハマったのですが、多くの場合新作はハードカバーだったので、図書室から借りることが多かったです。今でもそうです。他にも僕はとにかくミステリーが大好きで、色々な作家の本を読みます。新聞で面白そうな新刊の広告を見つけたら図書室にリクエストして仕入れてもらっています。皆さんは図書室がリクエストに応えてくれることを知っていますか？僕は今までに数名の作家の本（特にハードカバーの本）をリクエストしていますよ。皆さんもリクエストしてみてはいかがですか？

最近のイチオシは綾崎隼の恋愛ミステリーです。綾崎隼には独特の世界感や独特の表現があって、ストーリー性に優れ、時には号泣し、最高の物語です。残念ながら図書室には在庫がないので、全作品購入しています。若い作家なので、これまでに出版した本は全部で２０数冊です。どちらかと言うと女性が好むストーリーかも知れません。

◇◆◇

とめどないことを書き綴りましたが、とにかく僕の中で本は常にそこにある存在になっています。図書室で借りてきたり、本屋さんに行ったとき買ってみたり。（買ったけど読んでない本が数冊ある！）中々まとまった時間も取れず、毎日寝る前に少しずつ本を読んでいますが、そんなペースもイイなぁと思っています。僕の中で本は、雑多な日常を少しだけ忘れさせてくれる欠かせないものになっています。それは、本を読んでいるときは日々の様々なイヤなことを忘れられる時間だからです。ある意味、僕のストレス解消に役立っているのかも知れません。作家の作り上げた世界に入り込む楽しさはたまりませんよ。

◇◆◇

僕の夢は定年退職したら、毎日、日向ぼっこしながら本を読むことです。その日が来ることを願って今は、日々本を読んでいます。

～4コマまんが～

※家読とは・・・家族で読書習慣を共有し絆を深める活動です。　　By. kawakami

図書室資料について

新刊図書を貸出しています!

北海道立図書館より毎月５０冊ずつ新刊本を借り受けし、町民センター図書室にて町民の皆さまに貸出しています。

２０１５年～２０１６年に出版された新刊がたくさん！

小説や絵本から、レシピや図鑑や歴史書など、バラエティに富んだ本を用意してみなさんのお越しをお待ちしています。
ぜひ足を運んでみてください♪

書名	作者	出版社
「王様のブランチ」が恋した本	TBSテレビ「王様のブランチ」編	ベストセラーズ
魂の読書	清水克衛	育鵬社
使える日本史	後藤武士	KADOKAWA
東京ディープツアー	黒沢永紀　編著	毎日新聞出版
日本語大好き	金田一秀穂	文藝春秋
忘れられた日本の村	筒井功	河出書房新社
かぎ針編みのスリッパ&サンダル	——	エクスナレッジ
ツバキ文具店	小川糸	幻冬舎
ジニのパズル	崔実	講談社
ショートショート千夜一夜	田丸雅智	小学館
西一番街ブラックバイト	石田衣良	文藝春秋
ゆびさきちゃんのだいぼうけん	いわいとしお	白泉社
ぐるぐるぐる	内田麟太郎	金の星社
北海道民あるある	荒井宏明	TOブックス

などなど…　　他にもたくさん！

イベントの終了について

第13回いまかね図書まつりが開催されました!

１０月２３日（日）午前９：００～、今金町民センターで第１３回いまかね図書まつりが開催されました。各団体による歌や紙芝居、人形劇や読み聞かせなどのステージ発表や、各団体の製作物の展示ブースなどがありました。また、いまかね絵本普及委員会／ハローブック／檜山北高校ボランティア同好会／ポテト歯科などによるワークショップがあり来場者が参加型で本に親しむことができたイベントとなりました。

▲会場入口の様子

▲ワークショップの様子
（消しゴムはんこ作り）

▲ワークショップの様子
（紙づくり＆しおり作り）

図書室おすすめ本

このコーナーでは、図書室にある本の中からテーマに合わせておすすめの本をご紹介します!

今回のテーマは、 ＊雪＊ です。冬は雪がつきもの。

雪かきは大変ですが、そんな雪もいいものだ…と思える本があるかもしれませんよ。

ぜひとも本選びの参考にしてみてください＊

『ゆき』

ユリ・シュルヴィッツ/作
さくまゆみこ/訳

雪が積もりゆく街の風景と雪を愛でる男の子のうきうきした気持ちを描いた美しい絵本。

『雪国』

川端康成

雪国を訪れた男が、温泉町でひたむきに生きる女たちの諸相やゆらめき、定めない命の各瞬間の純粋を見つめる物語。

『ゆきの日』

菊田まりこ

大人になったぼくは、いつでも少しみたされていない。
すべての子どもたちと大人になった子どもたちに贈るクリスマスメッセージ。

『ゆきのひ』

エズラ・ジャック・キーツ/ぶん・え
きじまはじめ/やく

雪の中に立った男の子ピーターのわくわくした気持ちや好奇心が伝わるシンプルで美しい貼絵絵本。

『かわいい切り紙レシピ』

佐藤幹夫/編

紙とはさみですぐに楽しめるアート遊び「切り紙」。雪の結晶や雪だるま、様々なかわいいモチーフの切り紙レシピ満載です。

『雨と雪を調べる』

財団法人日本気象協会/編著

「雨と雪」について、理科だけでなく暮らしの側面からも調べられる本。「あられ」と「ひょう」の違い、あなたはわかりますか？？

—— 春号でまたお会いしましょう♪ ——